

マルチメディアプロジェクター

形名 エックスジー エム ビー **XG-MB70X** エックス

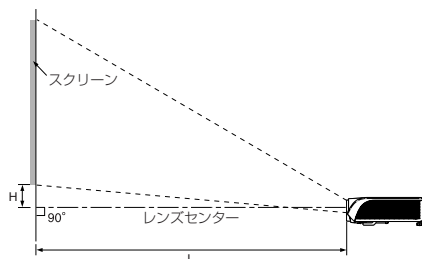
セットアップガイド

画面サイズと投映距離	2	設定を保存して終了する ([S]Save & Quit) ...	21
本体のコネクタのピン配置	3	設定を保存せずに終了する ([Q]Quit Unchanged)	21
RS-232C仕様とコマンド	4	IPアドレスの設定 ([1]IP Address)	22
本機のネットワーク設定をする	6	サブネットマスクの設定 ([2]Subnet Mask) ...	22
設定1.本機とコンピュータを接続する	7	デフォルトゲートウェイの設定 ([3]Default Gateway)	22
設定2.コンピュータのIPアドレスを設定する	8	ユーザー名の設定 ([4]User Name)	23
設定3.本機のネットワーク設定をする	10	パスワードの設定 ([5>Password)	23
本機をLAN経由で制御する	12	RS-232C ボーレートの設定 ([6]RS-232C Baud Rate)	23
Internet Explorer (バージョン5.0以降) でコントロールする	12	プロジェクター名の設定 ([7]Projector Name)	23
本機の状態を確認する (ステータス)	13	全ての接続を切断する ([D]Disconnect All) ...	24
本機をコントロールする (コントロール) ...	13	上級者向けのメニューに移動する ([A]Advanced Setup)	24
本機を設定/調整する (設定/調整)	14	自動ログアウト時間の設定 (ADVANCED [1]Auto Logout Time)	24
セキュリティの設定をする (ネットワーク-セキュリティ)	14	データポート番号の設定 (ADVANCED[2]Data Port)	24
ネットワークの一般的な設定をする (ネットワーク一般設定)	15	ネットワークピングテストを行う (ADVANCED[5]Network Ping Test)	25
エラー発生時にメールを送信するための 設定をする (メール-発信元設定)	15	許可するIPアドレスの設定 (ADVANCED[6]Accept IP Addr(1)-[8]Accept IP Addr(3))	25
エラー発生時にメールを送信するアドレスと エラー項目を設定する (メール-通知先設定)	16	全てのIPアドレスを許可する (ADVANCED[9]Accept All IP Addr)	25
RS-232CまたはTelnet経由で		検索用ポート番号の設定 (ADVANCED[0]Search Port)	26
本機を設定する	17	初期設定値に戻す (ADVANCED[!]Restore Default Setting)	26
RS-232C経由で接続する場合	17	メインの設定メニューに戻す (ADVANCED[Q]Return to Main Menu)	26
Telnet経由で接続する場合	18		
設定メニュー画面 (メインメニュー)	19		
上級者向けメニュー画面	19		
RS-232CまたはTelnet経由で			
本機を制御する	20		
設定内容一覧を見る ([V]View All Setting)	20		
項目を設定する	20		
		困ったときは	27
		寸法図	30

画面サイズと投映距離

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投映画面サイズが異なります。
下表を参考に、スクリーンに映像が最適な大きさに投映されるように設置してください。
値は設置の目安にしてください。

横から見たとき



4 : 3 標準モード (ビデオ入力時は、ズームモードとなります。)

画面サイズ			投映距離 (L)		画面下端からレンズセンター までの距離 (H)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	L1:最短	L2:最長	
300	6.10	4.57	9.1 m	13.7 m	-10 cm
250	5.08	3.81	7.6 m	11.4 m	-9 cm
200	4.06	3.05	6.0 m	9.1 m	-7 cm
150	3.05	2.29	4.5 m	6.8 m	-5 cm
100	2.03	1.52	3.0 m	4.6 m	-3 cm
80	1.63	1.22	2.4 m	3.6 m	-3 cm
70	1.42	1.07	2.1 m	3.2 m	-2 cm
60	1.22	0.91	1.8 m	2.7 m	-2 cm
40	0.81	0.61	1.2 m	1.8 m	-1 cm

X : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最短投映距離

L2 : 最長投映距離

H : 画面下端からレンズセンターまでの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

$L1=0.0302X$

$L2=0.0455X$

$H=-0.034X$

16 : 9 スクイーズモード

画面サイズ			投映距離 (L)		画面下端からレンズセンター までの距離 (H)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	L1:最短	L2:最長	
250	5.53	3.11	8.2 m	12.4 m	-61 cm
200	4.43	2.49	6.6 m	9.9 m	-49 cm
150	3.32	1.87	4.9 m	7.4 m	-37 cm
120	2.66	1.49	3.9 m	5.9 m	-29 cm
100	2.21	1.25	3.3 m	5.0 m	-24 cm
80	1.77	1.00	2.6 m	4.0 m	-20 cm
70	1.55	0.87	2.3 m	3.5 m	-17 cm
60	1.33	0.75	2.0 m	3.0 m	-15 cm
40	0.89	0.50	1.3 m	2.0 m	-10 cm

X : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最短投映距離

L2 : 最長投映距離

H : 画面下端からレンズセンターまでの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

$L1=0.0329X$

$L2=0.04957X$

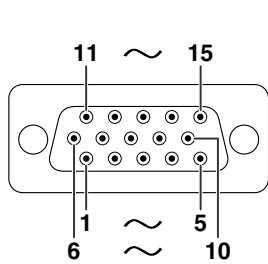
$H=-0.24459X$



- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に“-” (マイナス記号) がついた値はレンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

本体のコネクターのピン配置

入力1/入力2 RGB信号端子とRGB出力信号端子：15ピンミニD-subコネクタ（メス）



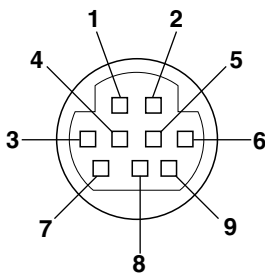
RGB入力

1. 映像入力（赤）
2. 映像入力（緑／シンクオングリーン）
3. 映像入力（青）
4. NC
5. NC
6. 接地（赤）
7. 接地（緑／シンクオングリーン）
8. 接地（青）
9. NC
10. 接地
11. NC
12. データ
13. 水平同期信号
14. 垂直同期信号
15. クロック

コンポーネント（色差）入力

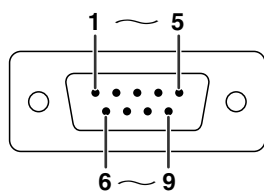
1. P_R (C_R)
2. Y
3. P_B (C_B)
4. NC
5. NC
6. 接地 (P_R)
7. 接地 (Y)
8. 接地 (P_B)
9. NC
10. NC
11. NC
12. NC
13. NC
14. NC
15. NC

RS-232C端子：9ピンミニDINコネクタ（メス）



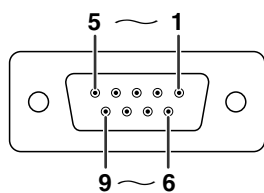
ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4				NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6				NC
7	RS			ピン番号8に接続
8	CS			ピン番号7に接続
9				NC

DIN-D-sub RS-232Cアダプター：9ピンD-subコネクタ（オス）



ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4				NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6				NC
7	RS			内部回路に接続
8	CS			内部回路に接続
9				NC

RS-232Cケーブルの推奨接続：9ピンD-subコネクタ（メス）

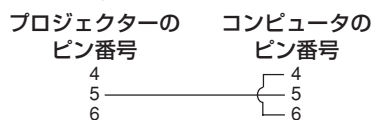


ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	CD	1	CD
2	RD	2	RD
3	SD	3	SD
4	ER	4	ER
5	SG	5	SG
6	DR	6	DR
7	RS	7	RS
8	CS	8	CS
9	CI	9	CI

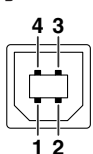


メモ

- 使用するコントロール機器（コンピュータなど）によってはピン4とピン6を接続する必要があります。

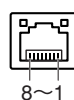


USB端子：4ピンBタイプUSBコネクタ（メス）



ピン番号	信号	信号名
1	VCC	USB電源
2	USB-	USBデータ-
3	USB+	USBデータ+
4	SG	接地

LAN端子：8ピンRJ-45モジュラコネクタ



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TX+	5	
2	TX-	6	RX-
3	RX+	7	
4		8	

RS-232C仕様とコマンド

コンピュータによるプロジェクターの制御

コンピュータをRS-232Cシリアル制御ケーブル(クロスタイプ、市販品)でプロジェクターに接続すると、コンピュータでプロジェクターを操作できます。(接続についてはプロジェクターの取扱説明書29ページをご覧ください。)

通信条件

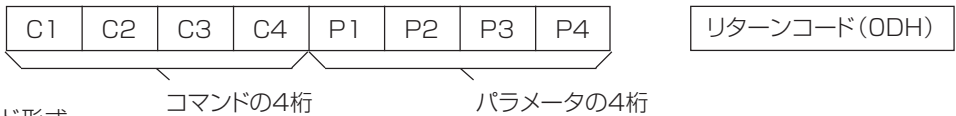
コンピュータのシリアルポートを、次のように設定します。

- 信号形式 : RS-232C規格に準拠
 - ボーレート* : 9,600 bps / 115,200 bps
 - データ長 : 8ビット
 - パリティビット : なし
 - ストップビット : 1ビット
 - フロー制御 : なし
- *ボーレートはプロジェクターとコンピュータとで設定を合わせてください。

基本形式

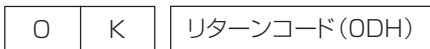
コンピュータからのコマンドは、コマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。プロジェクターがコンピュータからのコマンドを処理すると、コンピュータにレスポンスコードを送ります。

コマンド形式



レスポンスコード形式

通常のレスポンス



問題のあるレスポンス (通信エラーや不正なコマンド)



お知らせ

- コンピュータからRS-232Cコマンドを使ってプロジェクターを制御している場合は、電源を入れた後、30秒以上待ってからコマンドを送信してください。電源を待機状態にした後は、冷却ファンが止まるまで(約90秒間)待ってからコマンドを送信してください。
- 複数のコードを送信する場合には、前のコマンドのレスポンスコードがプロジェクターから送られた後で、次のコマンドを送信してください。

メモ

- プロジェクターが下記のコマンドを受信した際は、画面表示は消えません。
「POWR????」、「TABN__1」、「TLPS__1」、「TLTT__1」、「TLTL__1」
また、「無信号時自動電源オフ機能」のタイマーはリセットされません。

コマンド

例: プロジェクターの電源を入れる場合



制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
電源:スタンバイ	P O W R	- - - 0	OK または ERR
電源:オン	P O W R	- - - 1	OK または ERR
電源の状態	P O W R	? ? ? ?	0:スタンバイ, 1:オン
プロジェクターの状態	T A B N	- - - 1	0:正常, 1:高温, 2:冷却ファンのエラー, 8:ランプ残存率5%以下, 16:ランプ切れ, 32:ランプ不点灯, 64:異常高温
ランプの状態	T L P S	- - - 1	0:オフ, 1:オン, 2:再試行, 3:待機中, 4:ランプのエラー
音量(0-60)	V O L A	- - * *	OK または ERR
AV ミュート:オフ	I M B K	- - - 0	OK または ERR
AV ミュート:オン	I M B K	- - - 1	OK または ERR
キーストローク補正 (-127-/+127)	K E Y S	* * * *	OK または ERR

RS-232C仕様とコマンド

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
入力1 (RGB1)	I R G B	-- -- 1	OK または ERR
入力2 (RGB2)	I R G B	-- -- 2	OK または ERR
入力3 (Video)	I V E D	-- -- 1	OK または ERR
入力4 (S-Video)	I V E D	-- -- 2	OK または ERR
静止画: オフ	F R E Z	-- -- 0	OK または ERR
静止画: オン	F R E Z	-- -- 1	OK または ERR
自動同期調整の開始	A D J S	-- -- 1	OK または ERR
入力1 画面サイズ:標準/ズーム	R A S R	-- -- 1	OK または ERR
入力1 画面サイズ:ドットバイドット	R A S R	-- -- 3	OK または ERR
入力1 画面サイズ:ポーター/標準	R A S R	-- -- 6	OK または ERR
入力1 画面サイズ:スクイーズ	R A S R	-- -- 2	OK または ERR
入力2 画面サイズ:標準/ズーム	R B S R	-- -- 1	OK または ERR
入力2 画面サイズ:ドットバイドット	R B S R	-- -- 3	OK または ERR
入力2 画面サイズ:ポーター/標準	R B S R	-- -- 6	OK または ERR
入力2 画面サイズ:スクイーズ	R B S R	-- -- 2	OK または ERR
入力3 画面サイズ:ズーム	R A S V	-- -- 1	OK または ERR
入力3 画面サイズ:標準	R A S V	-- -- 3	OK または ERR
入力3 画面サイズ:スクイーズ	R A S V	-- -- 2	OK または ERR
入力4 画面サイズ:ズーム	R B S V	-- -- 1	OK または ERR
入力4 画面サイズ:標準	R B S V	-- -- 3	OK または ERR
入力4 画面サイズ:スクイーズ	R B S V	-- -- 2	OK または ERR
オートフォーカスの開始	A F S T	-- -- 1	OK または ERR
入力1 映像モード:標準	R A P S	-- -- 1	OK または ERR
入力1 映像モード:プレゼンテーション	R A P S	-- -- 1	OK または ERR
入力1 映像モード:シネマ	R A P S	-- -- 1	2 OK または ERR
入力1 映像モード:ゲーム	R A P S	-- -- 1	3 OK または ERR
入力2 映像モード:標準	R B P S	-- -- 1	0 OK または ERR
入力2 映像モード:プレゼンテーション	R B P S	-- -- 1	1 OK または ERR
入力2 映像モード:シネマ	R B P S	-- -- 1	2 OK または ERR
入力2 映像モード:ゲーム	R B P S	-- -- 1	3 OK または ERR
入力3 映像モード:標準	V A P S	-- -- 1	0 OK または ERR
入力3 映像モード:プレゼンテーション	V A P S	-- -- 1	1 OK または ERR
入力3 映像モード:シネマ	V A P S	-- -- 1	2 OK または ERR
入力3 映像モード:ゲーム	V A P S	-- -- 1	3 OK または ERR
入力4 映像モード:標準	V B P S	-- -- 1	0 OK または ERR
入力4 映像モード:プレゼンテーション	V B P S	-- -- 1	1 OK または ERR
入力4 映像モード:シネマ	V B P S	-- -- 1	2 OK または ERR
入力4 映像モード:ゲーム	V B P S	-- -- 1	3 OK または ERR
入力1 白伸長 (0-10)	I A W E	-- * *	OK または ERR
入力2 白伸長 (0-10)	R B W E	-- * *	OK または ERR
入力3 白伸長 (0-10)	V A W E	-- * *	OK または ERR
入力4 白伸長 (0-10)	V B W E	-- * *	OK または ERR
入力1 色温度 *1	R A C T	-- * *	OK または ERR
入力2 色温度 *1	R B C T	-- * *	OK または ERR
入力3 色温度 *1	V A C T	-- * *	OK または ERR
入力4 色温度 *1	V B C T	-- * *	OK または ERR
入力1 sRGB: オフ	C S R A	-- -- 0	OK または ERR
入力1 sRGB: オン	C S R A	-- -- 1	OK または ERR
入力2 sRGB: オフ	C S R B	-- -- 0	OK または ERR
入力2 sRGB: オン	C S R B	-- -- 1	OK または ERR
アイリス:高輝度モード	I R I S	-- -- 1	OK または ERR
アイリス:高コントラストモード	I R I S	-- -- 3	OK または ERR
入力1 入力信号タイプ:自動	I A S I	-- -- 0	OK または ERR
入力1 入力信号タイプ:RGB入力	I A S I	-- -- 1	OK または ERR
入力1 入力信号タイプ:色差入力	I A S I	-- -- 2	OK または ERR
入力2 入力信号タイプ:自動	I B S I	-- -- 0	OK または ERR
入力2 入力信号タイプ:RGB入力	I B S I	-- -- 1	OK または ERR
入力2 入力信号タイプ:色差入力	I B S I	-- -- 2	OK または ERR

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
入力1 調整のリセット	R A R E	-- -- 1	OK または ERR
入力2 調整のリセット	R B R E	-- -- 1	OK または ERR
入力3 調整のリセット	V A R E	-- -- 1	OK または ERR
入力4 調整のリセット	V B R E	-- -- 1	OK または ERR
自動同期調整: オフ	A A D J	-- -- 0	OK または ERR
自動同期調整: オン	A A D J	-- -- 1	OK または ERR
ランプ使用時間 (時間)	T L T T	-- -- 1	0-9999
ランプ残率 (パーセンテージ)	T L T L	-- -- 1	0-100
OSD表示: オフ	I M D I	-- -- 0	OK または ERR
OSD表示: オン	I M D I	-- -- 1	OK または ERR
映像信号方式: 自動	M E S Y	-- -- 1	OK または ERR
映像信号方式: PAL	M E S Y	-- -- 2	OK または ERR
映像信号方式: SECAM	M E S Y	-- -- 3	OK または ERR
映像信号方式: NTSC4.43	M E S Y	-- -- 4	OK または ERR
映像信号方式: NTSC3.58	M E S Y	-- -- 5	OK または ERR
映像信号方式: PAL-M	M E S Y	-- -- 6	OK または ERR
映像信号方式: PAL-N	M E S Y	-- -- 7	OK または ERR
映像信号方式: PAL-60	M E S Y	-- -- 8	OK または ERR
無信号時画面: ロゴ	I M B G	-- -- 1	OK または ERR
無信号時画面: ブルーバック	I M B G	-- -- 3	OK または ERR
無信号時画面: 画面表示なし	I M B G	-- -- 4	OK または ERR
エコモード: 標準	T H M D	-- -- 0	OK または ERR
エコモード: エコモード	T H M D	-- -- 1	OK または ERR
無信号時自動電源オフ: 不使用	A P O W	-- -- 0	OK または ERR
無信号時自動電源オフ: 使用	A P O W	-- -- 1	OK または ERR
起動時オートフォーカス実行: オフ	A T A F	-- -- 0	OK または ERR
起動時オートフォーカス実行: オン	A T A F	-- -- 1	OK または ERR
オートキーストーン: オフ (手動)	A T K S	-- -- 0	OK または ERR
オートキーストーン: オン	A T K S	-- -- 1	OK または ERR
内部スピーカー: オフ	A S P K	-- -- 0	OK または ERR
内部スピーカー: オン	A S P K	-- -- 1	OK または ERR
音声出力: 音声出力固定	A O U T	-- -- 1	OK または ERR
音声出力: 音声出力可変	A O U T	-- -- 2	OK または ERR
投映方式: 左右反転 オフ	I M R E	-- -- 0	OK または ERR
投映方式: 左右反転 オン	I M R E	-- -- 1	OK または ERR
投映方式: 上下反転 オフ	I M I N	-- -- 0	OK または ERR
投映方式: 上下反転 オン	I M I N	-- -- 1	OK または ERR
待機時モニター出力: 不使用	M O U T	-- -- 0	OK または ERR
待機時モニター出力: 使用	M O U T	-- -- 1	OK または ERR
待機時LAN/RS232C: 不使用	L N R S	-- -- 0	OK または ERR
待機時LAN/RS232C: 使用	L N R S	-- -- 1	OK または ERR
設定値初期化	A L R E	-- -- 1	OK または ERR
言語選択: ENGLISH	M E L A	-- -- 1	OK または ERR
言語選択: DEUTSCH	M E L A	-- -- 2	OK または ERR
言語選択: ESPAÑOL	M E L A	-- -- 3	OK または ERR
言語選択: NEDERLANDS	M E L A	-- -- 4	OK または ERR
言語選択: FRANÇAIS	M E L A	-- -- 5	OK または ERR
言語選択: ITALIANO	M E L A	-- -- 6	OK または ERR
言語選択: SVENSKA	M E L A	-- -- 7	OK または ERR
言語選択: 日本語	M E L A	-- -- 8	OK または ERR
言語選択: PORTUGUÉS	M E L A	-- -- 9	OK または ERR
言語選択: 汉语	M E L A	-- -- 1	0 OK または ERR
言語選択: 한국어	M E L A	-- -- 1	1 OK または ERR
モデル名の確認	T N A M	-- -- 1	XGMB70X
モデル名の確認2	M N R D	-- -- 1	XG-MB70X
プロジェクト名1の設定1 (最初の4文字) *2	P J N 1	* * * *	OK または ERR
プロジェクト名1の設定2 (途中の4文字) *2	P J N 2	* * * *	OK または ERR
プロジェクト名1の設定3 (最後の4文字) *2	P J N 3	* * * *	OK または ERR
プロジェクト名1の確認	P J N 0	-- -- 1	XG-MB70X

メモ

- パラメータの列でアンダーバー (_) のところには、スペースを入力します。
 - パラメータの列でアスタリスク (*) のところには、「制御する内容」のカッコ内に示された範囲の値を入力します。
- *1 色温度設定のコマンドのパラメータは、以下のようになります。

設定したい色温度	パラメータ
5500K	_ 0 5 5
6500K	_ 0 6 5
7500K	_ 0 7 5
8500K	_ 0 8 5
9300K	_ 0 9 3
10500K	_ 1 0 5

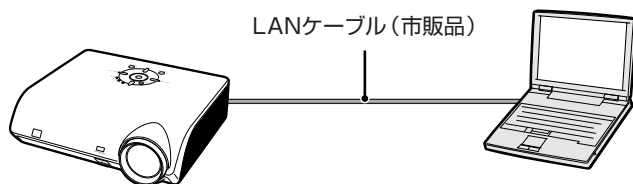
*2 プロジェクター名1の設定1~3は、必ずPJN1、PJN2、PJN3の順にコマンドを送信してください。

本機のネットワーク設定をする

ここでは、本機をネットワーク経由で使用するための基本的な設定方法について説明します。すでにネットワークが構築されている場合は、決められた値を設定しなければならないことがありますので、ネットワーク管理者にご相談ください。

設定1. 本機とコンピュータを接続する

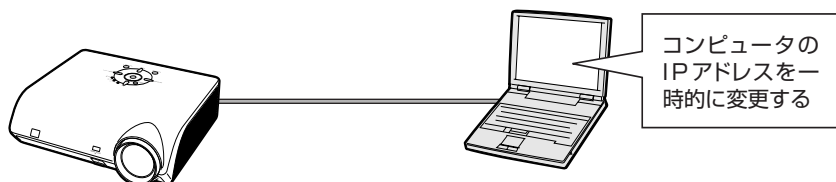
本機と設定用コンピュータをLANケーブル（カテゴリ5、クロスタイプ）を使用して1対1で接続します。



➡ 7ページ

設定2. コンピュータのIPアドレスを設定する

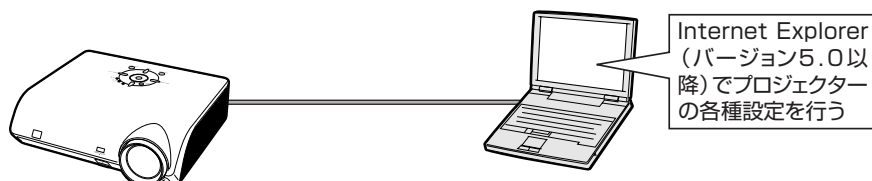
設定用コンピュータのIPアドレスを一時的に変更します。



➡ 8、9ページ

設定3. 本機のネットワーク設定をする

本機をネットワークに接続するための設定をします。



➡ 10ページ

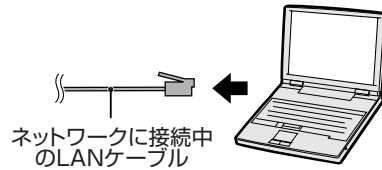
- Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

本機のネットワーク設定をする

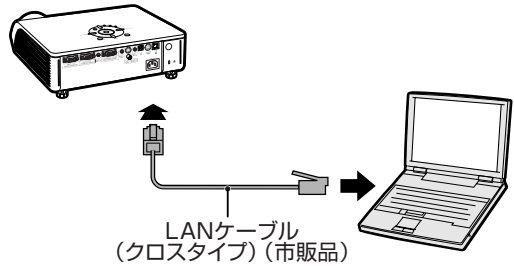
設定1. 本機とコンピュータを接続する

本機を設定するためのコンピュータ（設定用コンピュータ）と本機を、LANケーブルを使用して、ネットワークに接続せずに1対1で接続します。

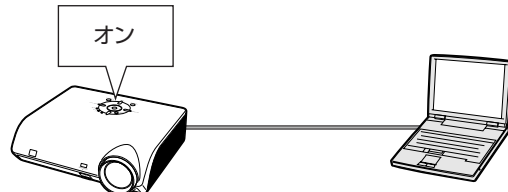
1 設定用コンピュータのLANケーブルを抜き、使用中のネットワークから外す



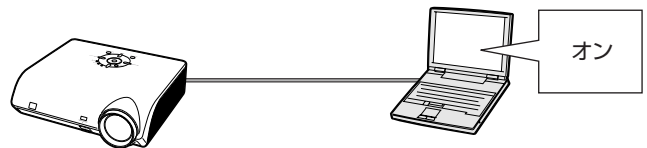
2 本機のLAN端子にLANケーブル（UTPケーブル、カテゴリー5、クロスタイプ）を接続し、もう一方をコンピュータのLAN端子に接続する



3 本機の電源を入れる



4 コンピュータの電源を入れる



お知らせ

本機背面のLINK LEDが点灯することをご確認ください。LINK LEDが点灯しない場合は、下記をご確認ください。

- LANケーブルが正しく接続されていること
- 本機とコンピュータの電源が入っていること

これで、接続は完了です。次の「設定2. コンピュータのIPアドレスを設定する」へお進みください。

本機のネットワーク設定をする

設定2. コンピュータのIPアドレスを設定する

ここではWindows XPを例に説明しています。

1 コンピュータの管理者のアカウントでログオンする

2 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル(C)] をクリックする

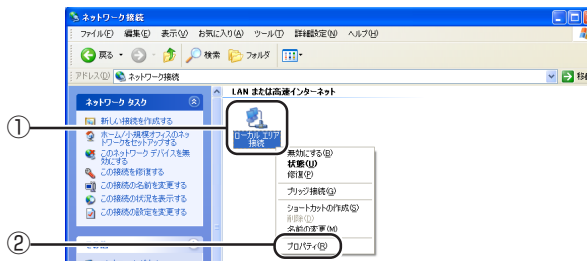


3 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、開いたウィンドウの中にある [ネットワーク接続] をクリックする

•ここでは、カテゴリ表示で説明しています。クラシック表示でご使用の場合は[ネットワーク接続]をダブルクリックします。

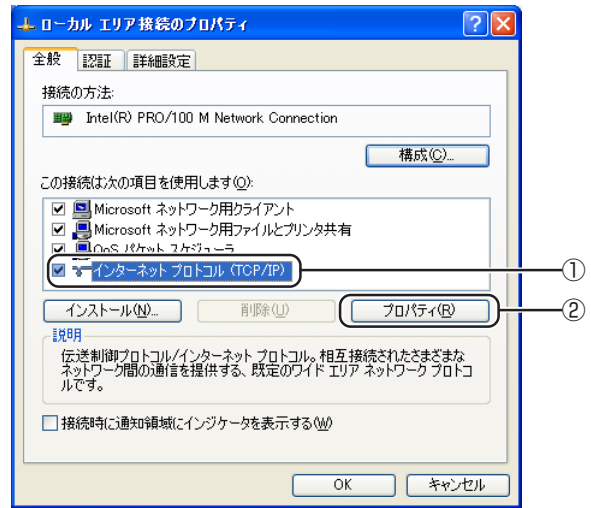


4 [ローカル エリア接続] を右クリックし、メニュー内の [プロパティ(R)] をクリックする



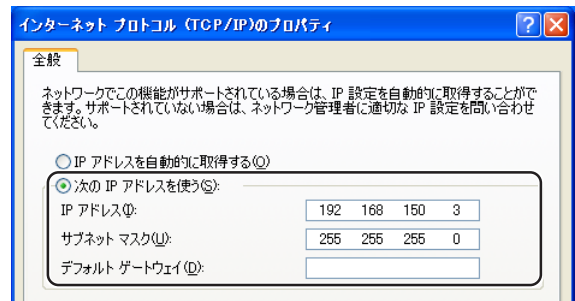
本機のネットワーク設定をする

5 【インターネット プロトコル (TCP/IP)】をクリックし、【プロパティ(R)】ボタンをクリックする



6 設定用コンピュータのIPアドレスを確認・変更する

- ① 現在のIPアドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイを確認し、メモします。
後で、現在のIPアドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。
- ② 本機のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの出荷設定値はそれぞれ「192.168.150.2」、「255.255.255.0」、「0.0.0.0」になっています。ここでは一時的にIPアドレスを次のように変更します。
IPアドレス : 192.168.150.3
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:(何も入力しないでください)



7 設定したら【OK】ボタンをクリックし、コンピュータを再起動する

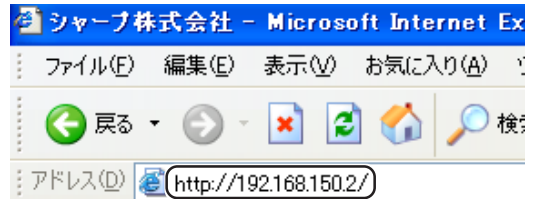
確認・設定後、「設定3. 本機のネットワーク設定をする」へお進みください。

本機のネットワーク設定をする

設定3. 本機のネットワーク設定をする

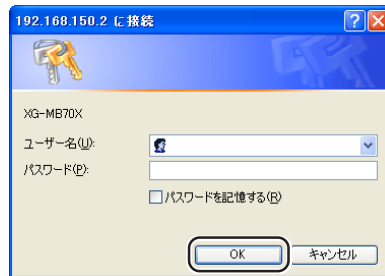
本機のIPアドレスやサブネットマスクなどを、ご使用のネットワークに合わせて設定します。

1 コンピュータのInternet Explorer (バージョン5.0以降) を起動して「アドレス(D)」に“http://192.168.150.2/”を入力し、「Enter」キーを押す

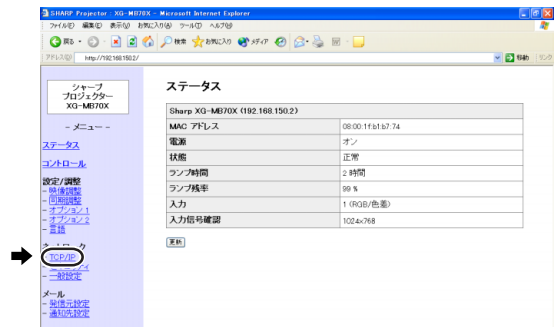


2 ユーザー名とパスワードを設定していないときは、何も入力せず [OK] ボタンをクリックする

- ユーザー名とパスワードを設定しているときは、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
- ユーザー名またはパスワードを3回間違えると、エラーメッセージが表示されます。



3 右の画面が表示されたら、[TCP/IP] をクリックする



本機のネットワーク設定をする

4 TCP/IP設定画面が表示されるので、本機のネットワーク設定をする

項目	設定例・備考
IPアドレス	出荷設定値: 192.168.150.2 ネットワークに適したIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	出荷設定値: 255.255.255.0 コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	出荷設定値: 0.0.0.0 * 使用しない場合は「0.0.0.0」に設定してください。
DNSサーバー	出荷設定値: 0.0.0.0 * 使用しない場合は「0.0.0.0」に設定してください。

ネットワーク - TCP/IP

IPアドレス	192 168 150 2
サブネットマスク	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	0 0 0 0 使用しない場合は「0.0.0.0」を入力
DNSサーバー	0 0 0 0 使用しない場合は「0.0.0.0」を入力

メモ

- 使用しているネットワークのセグメント (IPアドレスのグループ) をご確認の上、他のネットワーク機器やコンピュータのIPアドレスと重複しないように設定してください。IPアドレス「192.168.150.XXX」のネットワークにて、「192.168.150.2」が未使用の場合は、本機のIPアドレスを変更する必要はありません。
- 各設定値について詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

5 [適用] ボタンをクリックする

ネットワーク - TCP/IP

IPアドレス	192 168 150 2
サブネットマスク	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	0 0 0 0 使用しない場合は「0.0.0.0」を入力
DNSサーバー	0 0 0 0 使用しない場合は「0.0.0.0」を入力



更新

6 設定した数値が表示されるので、正しく設定されているかを確認し、[確認] ボタンをクリックする

項目を設定した後は、10秒ほど時間をあけてから再度アクセスしてください。

ネットワーク - TCP/IP

TCP/IP設定が以下のように変更されます。

IPアドレス	: 192.168.150.2
サブネットマスク	: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	: 0.0.0.0
DNSサーバー	: 0.0.0.0

変更してよろしいですか？



「確認」をクリックした後、続けて操作を行う場合は、10秒程度経過した後、192.168.150.2へ再度アクセスして下さい。

これでネットワークの設定は終了です。
設定用コンピュータのIPアドレスを元に戻し、コンピュータおよび本機をネットワークに接続してください。

本機をLAN経由で制御する

本機をお使いのネットワークに接続した後、ネットワーク内のコンピュータで本機のIPアドレスをInternet Explorer (バージョン5.0以降) のアドレス欄に入力すると、設定画面が起動でき、ネットワーク経由でのコントロールが可能になります。

Internet Explorer(バージョン5.0以降)でコントロールする

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。(プロジェクターの取扱説明書23～30ページ参照)

また、電源コードの接続も済ませておいてください。(プロジェクターの取扱説明書31ページ参照)

メモ

- 本機をLANに接続する場合、ケーブルはLANケーブル(カテゴリー5)を使用してください。ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのケーブルを使用してください。

1 コンピュータのInternet Explorer (バージョン5.0以降) を起動する

2 「アドレス(D)」に「http://」に続けて11ページで設定したプロジェクターのIPアドレスと「/」を入力し、「Enter」キーを押す

プロジェクターのIPアドレスの出荷設定値は「192.168.150.2」です。「設定3. 本機のネットワークを設定する」(10～11ページ)でIPアドレスを変更していない場合は、「http://192.168.150.2/」と入力してください。

3 プロジェクターを制御するための画面が表示されたら、各種の状態確認・制御・設定を行う



本機をLAN経由で制御する

本機の状態を確認する(ステータス)

ステータス

Sharp XG-MB70X (192.168.150.2)	
MAC アドレス	08:00:1f:b1:b7:74
電源	オン
状態	正常
ランプ時間	2 時間
ランプ残率	99 %
入力	1 (RGB/色差)
入力信号確認	OK

[更新](#)

この画面では、プロジェクターの状態を確認できません。確認できる項目は次の通りです。

- MAC アドレス
- 電源
- 状態
- ランプ時間
- ランプ残率
- 入力
- 入力信号確認

メモ

- 画面が完全に表示される前に[更新] ボタンをクリックすると、「サーバーアクセス過多エラー」と表示されます。しばらく経ってから、再度アクセスしてください。
- 各項目については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

本機をコントロールする(コントロール)

コントロール

電源	<input type="radio"/> スタンバイ <input checked="" type="radio"/> オン
入力切替	<input type="text" value="INPUT1 (RGB/色差)"/>
音量	<input type="text" value="1"/>
AVミュート	<input checked="" type="radio"/> オフ <input type="radio"/> オン

[更新](#)

この画面では、プロジェクターの制御を行うことができます。制御できる項目は次の通りです。

- 電源
- 入力切替
- 音量
- AVミュート [オフ] [オン]

メモ

- 画面が完全に表示される前に[更新] ボタンをクリックすると、「サーバーアクセス過多エラー」と表示されます。しばらく経ってから、再度アクセスしてください。
- 電源起動中はページを操作することができません。
- スタンバイ中は電源オンのみ操作することができます。
- 各項目については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

本機をLAN経由で制御する

本機を設定/調整する(設定/調整)

例:下の画面は、入力1で使用したときの「映像調整」の表示画面です。

設定/調整 - 映像調整 (入力1)

映像モード	標準	リセット
白伸長	10	
色温度	7500K	
sRGB	オフ/オン	
アイリス	高解度	
入力信号タイプ	自動	

更新

これらの画面では、プロジェクターの設定・調整を行うことができます。設定/調節できる項目は次の通りです。

- 映像モード
- 白伸長
- 色温度
- sRGB [オフ] [オン]
- アイリス
- 入力信号タイプ
- 自動同期調整 [オフ] [オン]
- 画面サイズ (入力1)
- OSD表示 [オフ] [オン]
- 映像信号方式 (入力3/4)
- 無信号時画面
- エコモード [オフ] [オン]
- 無信号時自動電源オフ [オフ] [オン]
- 起動時オートフォーカス実行 [オフ] [オン]
- オートキーストーン [オフ] [オン]
- 内蔵スピーカー [オフ] [オン]
- 音声出力
- 投映モード
- RS-232C通信速度
- 待機時モニター出力
- 言語選択

メモ

- 画面が完全に表示される前に[更新]ボタンをクリックすると、「サーバーアクセス過多エラー」と表示されます。しばらく経ってから、再度アクセスしてください。
- 電源起動中はページを操作することができません。
- スタンバイ中は電源オンのみ操作することができます。
- 各項目については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

セキュリティの設定をする (ネットワーク - セキュリティ)

ネットワーク - セキュリティ

ユーザー名	<input type="text"/> (最大8文字)
パスワード	<input type="password"/> (最大8文字)
<small>このユーザー名/パスワードはウェブブラウザもしくはTelnet経由でアクセスする際に使用します。 ユーザー名/パスワードを変更した場合、新しいユーザー名/パスワードで再ログインする必要があります。</small>	
アクセス許可IPアドレス	<input type="checkbox"/> 全てのIPアドレス <input type="checkbox"/> 特定のIPアドレスのみ アドレス1 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> アドレス2 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> アドレス3 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>

適用

更新

この画面では、セキュリティに関連する設定を行うことができます。

項目	内容
ユーザー名	ユーザー名を設定することにより、セキュリティ保護を行います。
パスワード	パスワードを設定することにより、セキュリティ保護を行います。
アクセス許可IPアドレス	本機に接続をできるIPアドレスを3つまで設定できます。
全てのIPアドレス	本機に接続するIPアドレスに制限を設けません。
特定のIPアドレスのみ	セキュリティ向上のため、「アドレス1」、「アドレス2」、「アドレス3」で設定されたIPアドレスのみ本機に接続できます。

メモ

- ユーザー名、パスワードは英数字半角8文字まで入力できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
a-z、A-Z、0-9、-、_

ネットワークの一般的な設定をする(ネットワーク - 一般設定)

ネットワーク - 一般設定

プロジェクター名	PG-MB70X (最大12文字)
自動ログアウト時間	5 分 (0-65535) 0に設定すると、この機能はオフになります。
データポート番号	10002 (1025-65535)
検索用ポート番号	6006 (1025-65535)

[適用]

[更新]

この画面では、ネットワークに関連する一般的な設定を行うことができます。

項目	内容
プロジェクター名	プロジェクターの名前を設定します。
自動ログアウト時間	プロジェクターがネットワーク接続を自動的に切断するまでの時間を、分単位で設定します。 1~65535分の間で設定できます。0に設定すると、この機能はオフになります。
データポート番号	データ通信のTCPポート番号を設定します。1025~65535の間で設定できます。
検索用ポート番号	プロジェクターを検索するときに、使用するポート番号を設定します。1025~65535の間で設定できます。

[適用] ボタンをクリックすると、設定した数値が表示されます。正しく設定されているかを確認し、[確認] ボタンをクリックしてください。

メモ

- 項目を設定した後は、10秒ほど時間をあけてから再度アクセスしてください。
- プロジェクター名は英数字半角12文字まで入力できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
A-Z、0-9、-、_、(、) (スペース)
(a-zを入力した場合、A-Zに自動的に変換されます。)

エラー発生時にメールを送信するための設定をする

(メール - 発信元設定)

メール - 発信元設定

SMTPサーバー	<input type="text"/> (最大64文字)
発信元メールアドレス	<input type="text"/> (最大64文字)
発信元名	<input type="text"/> (最大64文字)

[適用]

[更新]

この画面では、プロジェクターがエラーを起こしたときに送信されるメールについての設定を行うことができます。

項目	内容・設定例・備考
SMTPサーバー	メール送信用のSMTPサーバーアドレスを設定します。 例1: 192.168.150.253 例2: smtp123.sharp.co.jp * ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定も行ってください。
発信元メールアドレス	プロジェクターのメールアドレスを設定します。ここで設定したアドレスは、発信元のメールアドレスになります。
発信元名	発信元の名前を設定します。ここで設定した発信元名は、送信するメール本文の「Originator Name (発信元名)」欄に表示されます。

メモ

- SMTPサーバー、発信元メールアドレス、発信元名は英数字半角64文字まで入力できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
SMTPサーバー、発信元メールアドレス:
a-z、A-Z、0-9、!、#、\$、%、&、*、+、-、/、=、?、^、\、|、}、~、`、'、"、.、@、,、
(@は一度のみ指定することができます。)
発信元名:a-z、A-Z、0-9、-、_、(、) (スペース)
- 「設定3. 本機のネットワーク設定をする」(10~11ページ)の設定が正しく設定されていないとメールは送信されません。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を設定する

RS-232CまたはTelnet経由で本機をコンピュータと接続し、コンピュータでSETUP MENU画面を開いて本機の各種設定を行うことができます。

RS-232C経由で接続する場合

1 コンピュータで汎用のターミナルエミュレーターを起動する

2 RS-232CのPortの設定を以下のよう
に設定する

Baud Rate : 9600bps*
Data length : 8bit
Parity bit : None
Stop bit : 1bit
Flow control : None

* 工場出荷時の数値です。変更してある場合は、その数値に合わせて設定してください。

3 “PJS11234” と入力し「Enter」
キーを押す

4 “OK” と表示されたら、10秒以内に
“PJS25678” と入力し「Enter」
キーを押す

5 “User Name:” と表示されるので、
ユーザー名を入力し「Enter」キーを
押す

• ユーザー名が未設定の場合は「Enter」キーのみを押します。

6 “Password:” と表示されるので、
パスワードを入力し「Enter」キーを
押す

• パスワードが未設定の場合は「Enter」キーのみを押します。

7 “setup” と入力し「Enter」キーを
押す

SETUP MENUが表示されます。

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----  
[1]IP Address      [2]Subnet Mask    [3]Default Gateway  
[4]User Name       [5>Password  
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name  
[A]Advanced Setup  [D]Disconnect All  
[V]View All Setting [S]Save & Quit    [Q]Quit Unchanged  
  
setup>
```

 メモ

- ユーザー名、パスワードは初期設定では設定されていません。
- ユーザー名またはパスワードを3回間違えると、SETUP MENUは終了されます。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を設定する

Telnet 経由で接続する場合

1 Windowsのデスクトップから[スタート] ボタンをクリックし[ファイル名を指定して実行(R)] をクリックする

2 「名前(O):」に“telnet 192.168.150.2”と入力する(本機のIPアドレスが192.168.150.2の場合)

3 [OK] ボタンをクリックする

4 “User Name:”と表示されるので、ユーザー名を入力し「Enter」キーを押す

- ユーザー名が未設定の場合は「Enter」キーのみを押します。

5 “Password:”と表示されるので、パスワードを入力し「Enter」キーを押す

- パスワードが未設定の場合は「Enter」キーのみを押します。

6 “setup”と入力し「Enter」キーを押す

- SETUP MENUが表示されます。

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask    [3]Default Gateway
[4]User Name      [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit    [Q]Quit Unchanged

setup>
```

メモ

- IPアドレスを変更してある場合は、手順2において変更後のIPアドレスを入力してください。
- ユーザー名、パスワードは初期設定では設定されていません。
- 手順4、5でユーザー名またはパスワードを3回間違えると、接続は終了されます。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を設定する

設定メニュー画面(メインメニュー)

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask    [3]Default Gateway
[4]User Name       [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name [D]Disconnect All
[A]Advanced Setup  [V]View All Setting [S]Save & Quit    [Q]Quit Unchanged
setup>
```

- [1] IP Address (初期設定値:192.168.150.2)
本機のIPアドレスを設定します。(22ページ)
- [2] Subnet Mask (初期設定値:255.255.255.0)
本機のサブネットマスクを設定します。(22ページ)
- [3] Default Gateway (初期設定値:設定されていません)
本機のデフォルトゲートウェイを設定します。
(22ページ)
- [4] User Name (初期設定値:設定されていません)
ユーザー名を設定することにより、セキュリティ保護を行います。(23ページ)
- [5] Password (初期設定値:設定されていません)
パスワードを設定することにより、セキュリティ保護を行います。(23ページ)
- [6] RS-232C Baud Rate (初期設定値:9600 bps)
本機のRS-232C 入出力端子のボーレートを設定します。(23ページ)
- [7] Projector Name (初期設定値:XG-MB70X)
本機に名前をつけることができます。(23ページ)
- [A] Advanced Setup
上級者向けのメニューに移動します。(24ページ)
- [D] Disconnect All
全ての接続を切断します。(24ページ)
- [V] View All Setting
全ての設定値を表示します。(20ページ)
上級者向けのメニューでも使用できます。
- [S] Save & Quit
設定値を保存して、メニューを終了します。
(21ページ)
- [Q] Quit Unchanged
設定値を保存せず、メニューを終了します。
(21ページ)

上級者向けメニュー画面

▼ ADVANCED SETUP MENU 画面

```
***** ADVANCED SETUP MENU *****
[1]Auto Logout Time [2]Data Port
[5]Network Ping Test
[6]Accept IP Addr(1) [7]Accept IP Addr(2) [8]Accept IP Addr(3)
[9]Accept All IP Addr [0]Search Port

[!]Restore Default Setting
[Q]Return to Main Menu

advanced>
```

- [1] Auto Logout Time (初期設定値:5分)
本機が自動的にネットワーク接続を切断するまでの時間を設定します。(24ページ)
- [2] Data Port (初期設定値:10002)
データ通信用のTCPポート番号を設定します。
(24ページ)
- [5] Network Ping Test
本機とコンピュータなどとのネットワーク接続が正常に行われているかを確認することができます。
(25ページ)
- [6] Accept IP Addr(1)
[7] Accept IP Addr(2)
[8] Accept IP Addr(3)
[9] Accept All IP Addr
セキュリティの向上を図るために、本機に接続を許可するIPアドレスを3つまで設定することができます。設定したIPアドレスは、[9]Accept All IP Addrによって解除することができます。(25ページ)
- [0] Search Port (初期設定値:5006)
本機を検索するとき、使用するポート番号を設定します。(26ページ)
- [!] Restore Default Setting
メニューで設定可能な設定値を、全て出荷初期状態に戻します。(26ページ)
- [Q] Return to Main Menu
メインの設定メニューに戻ります。(26ページ)

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

SETUP MENU画面で、選択したい項目の番号または記号を入力します。設定する場合は、設定した内容を入力します。設定は1項目ずつ行い、最後に保存します。

設定内容一覧を見る

([V]View All Setting)

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask  [3]Default Gateway
[4]User Name      [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit  [Q]Quit Unchanged

setup>v
Model Name       : XG-MB70X
Projector Name   : XG-MB70X
MAC Address      : 08:00:1f:b1:b7:74
IP Address       : 192.168.150.2
Subnet Mask      : 255.255.255.0
Default Gateway  : Not Used
RS-232 Baud Rate : 9600 bps
Password         : Not Required
***** (Advanced Status) *****
Data Port        : 10002
Accept IP Address : Accept All
Auto Logout Time : 5 minutes
Search Port      : 5006
```

- ① “v”を入力し「Enter」キーを押す
全ての設定値(*)が表示されます。

項目を設定する

(例) IP Addressを設定する場合

(192.168.150.2から192.168.150.3に変更)

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask  [3]Default Gateway
[4]User Name      [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit  [Q]Quit Unchanged

setup>1
IP Address       : 192.168.150.2 *1
Please Enter     : 192.168.150.3 *2
(change)  -> 192.168.150.3

-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask  [3]Default Gateway
[4]User Name      [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit  [Q]Quit Unchanged

Setup>v
Model Name       : XG-MB70X
Projector Name   : XG-MB70X
MAC Address      : 08:00:1f:b1:b7:74
IP Address       : 192.168.150.3 *3
Subnet Mask      : 255.255.255.0
Default Gateway  : Not Used
RS-232C Baud Rate : 9600 bps
Password         : Not Required
***** (Advanced Status) *****
Data Port        : 10002
Accept IP Address : Accept All
Busy Reply       : ERR+<CR> code
Input Hold Time  : 1000 milliseconds
Auto Logout Time : 5 minutes
Search Port      : 5006
```

- ① “1” (設定したい項目の番号)を入力し、「Enter」キーを押す
現在のIPアドレス(*1)が表示されます。
- ② 設定したいIPアドレスを入力し、「Enter」キーを押す
変更後のIPアドレス(*2)が表示されます。
- ③ “v”を入力後「Enter」キーを押し、設定内容一覧を確認する
IPアドレス(*3)が変更されています。

メモ

- 設定内容一覧の確認は省略することができます。
- 設定内容は、保存するまで有効になりません。(21ページ)
- 無効な数値を入力した場合は、“Parameter Error!”と表示され再度入力を促します。

設定を保存して終了する ([S]Save & Quit)

設定値を保存して、メニューを終了します。

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask   [3]Default Gateway
[4]User Name      [5]Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit   [Q]Quit Unchanged

setup>s
All Connection will be disconnect.
Continue(y/n)? y
Apply New setting...Done.
```

- ① “s”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

設定を保存せずに終了する ([Q]Quit Unchanged)

設定値を保存せず、メニューを終了します。

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask   [3]Default Gateway
[4]User Name      [5]Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit   [Q]Quit Unchanged

setup>q
Quit Without Saving(y/n)? y
Setting Unchanged.
```

- ① “q”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

各項目の設定手順を説明します。基本手順については20ページの「項目を設定する」を参照してください。

IPアドレスの設定

([1]IP Address)

本機のIPアドレスを設定します。

```
setup>1
IP Address      :192.168.150.2
Please Enter    :192.168.150.3
(change)  -> 192.168.150.3 *
```

- ① “1”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 設定したい数値を入力し、「Enter」キーを押す
変更後のIPアドレス(*)が表示されます。

サブネットマスクの設定

([2]Subnet Mask)

本機のサブネットマスクを設定します。

```
setup>2
Subnet Mask    :255.255.255.0
Please Enter    :255.0.0.0
(change)  -> 255.0.0.0 *
```

- ① “2”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 設定したい数値を入力し、「Enter」キーを押す
変更後のサブネットマスク(*)が表示されます。

デフォルトゲートウェイの設定

([3]Default Gateway)

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。

```
setup>3
note: "0.0.0.0" means "Using no default gateway."
Gateway Address :0.0.0.0
Please Enter    :192.168.150.1
(change)  -> 192.168.150.1 *
```

- ① “3”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 設定したい数値を入力し、「Enter」キーを押す
変更後のゲートウェイアドレス(*)が表示されます。

メモ

- Telnet経由で本機のIPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ等の設定値を変更している場合、制御用コンピュータのネットワーク設定によっては本機に接続できなくなることがありますのでご注意ください。

ユーザー名の設定

([4]User Name)

セキュリティ保護のため、ユーザー名を設定します。

```
setup>4 ①
User Name :
(Please Enter : XG-MB70X) ②
(change) --> XG-MB70X *
```

- ① “4”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② ユーザー名を入力し、「Enter」キーを押す
設定したユーザー名(*)が表示されます。

メモ

- ユーザー名は英数字半角8文字まで設定できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
a-z、A-Z、0-9、-、_
- 初期設定状態ではユーザー名は設定されていません。

パスワードの設定

([5]Password)

セキュリティ保護のため、パスワードを設定します。

```
setup>5 ①
Password :
(Please Enter : sharppj) ②
(change) --> sharppj *
```

- ① “5”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② パスワードを入力し、「Enter」キーを押す
設定したパスワード(*)が表示されます。

メモ

- パスワードは英数字半角8文字まで設定できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
a-z、A-Z、0-9、-、_
- 初期設定状態ではパスワードは設定されていません。

RS-232Cボーレートの設定

([6]RS-232C Baud Rate)

本機のRS-232C入出力端子のボーレートを設定します。

```
setup>6 ①
note: It sets both RS-232C (COMPUTER) and RS-232C (PROJECTOR).
0 ... 9600 bps
2 ... 115200 bps
(Baud Rate Select[0,2] :2) ②
RS-232C Baud Rate : 115200 bps *
```

- ① “6”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② ボーレートの番号 (“0”または“2”)を入力し、「Enter」キーを押す
設定したボーレート(*)が表示されます。

メモ

- コンピュータのRS-232C端子と本機のRS-232C端子のボーレートは同じ値に設定してください。

プロジェクター名の設定

([7]Projector Name)

本機に名前をつけることができます。

```
Setup>7 ①
Projector Name : XG-MB70X
(Please Enter : MY XG-MB70X) ②
(change) --> MY XG-MB70X *
```

- ① “7”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② プロジェクター名を入力し、「Enter」キーを押す
設定したプロジェクター名(*)が表示されます。

メモ

- プロジェクター名は英数字半角12文字まで設定できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
a-z、A-Z、0-9、-、_、(、)、(スペース)
(a-zを入力した場合、A-Zに自動的に変換されます。)
- RS-232Cコマンド「PJN0」「PJN1」「PJN2」「PJN3」で確認・設定できるプロジェクター名と同じものです。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

全ての接続を切断する

([D]Disconnect All)

本機が認識している全てのTCP/IPの接続を切断することができます。もし何らかのトラブルによりデータ通信用ポートがビジー状態で固定されてしまっても、この切断により強制的に準備状態に戻すことができます。

```
setup>d
Disconnect All Connections(y/n)?y
Now Disconnecting...
```

- ① “d”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

メモ

- Disconnect Allを実行すると、本機へのネットワーク経由の接続は強制終了または切断されます。

上級者向けのメニューに移動する

([A]Advanced Setup)

上級者向けのメニューに移動します。

```
setup>a
***** ADVANCED SETUP MENU *****
[1]Auto Logout Time   [2]Data Port
[5]Network Ping Test
[6]Accept IP Addr(1)  [7]Accept IP Addr(2)  [8]Accept IP Addr(3)
[9]Accept All IP Addr [0]Search Port

[!]Restore Default Setting
[Q]Return to Main Menu

advanced>
```

- ① “a”を入力し、「Enter」キーを押す

自動ログアウト時間の設定

(ADVANCED[1]Auto Logout Time)

ネットワーク経由で接続中、一定時間以上何も入力がないと自動ログアウト機能により自動的にネットワーク接続を切断します。自動で切断するまでの時間を、分単位で設定できます。(1~65535分)

```
advanced>1
Valid range      : 0 to 65535 (minute)
note: if you enter "0", auto logout function will be disable.
Auto Logout Time : 5
Please Enter     :15
(change)        -> 15
```

- ① “1”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 数値を入力し、「Enter」キーを押す
設定した数値(*)が表示されます。

メモ

- 設定数値を0にすると、自動ログアウト機能は無効になります。
- 無効な数値を入力すると、エラーメッセージ (“Parameter Error!”)が表示され、ADVANCED SETUP MENU 画面に戻ります。

データポート番号の設定

(ADVANCED[2]Data Port)

データ通信のTCPポート番号を設定します。1025~65535の間で設定できます。

```
advanced>2
Valid range      :1025 to 65535
Data Port       :10002
Please Enter     :10005
(change)        -> 10005
```

- ① “2”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 数値を入力し、「Enter」キーを押す
設定した数値(*)が表示されます。

メモ

- 必要に応じて設定してください。通常は初期設定状態のままお使いください。

ネットワークピングテストを行う (ADVANCED[5]Network Ping Test)

本機とコンピュータなどのネットワーク接続が正常に行われているかを確認することができます。

```
advanced>5 ①
Ping dest IP addr :192.168.150.1
Please Enter :192.168.150.152 ②
(change)  → 192.168.150.152 *1
32 bytes from 192.168.150.152: icmp_seq = 1, time = 0 ms
32 bytes from 192.168.150.152: icmp_seq = 2, time = 0 ms *2
32 bytes from 192.168.150.152: icmp_seq = 3, time = 0 ms
32 bytes from 192.168.150.152: icmp_seq = 4, time = 0 ms
```

- ① “5”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② テストする機器のIPアドレスを入力し、「Enter」キーを押す
入力したIPアドレス(*1)が表示されます。
テスト結果(*2)が表示されます。

メモ

- IPアドレスを入力せずに「Enter」キーのみを押すと、前回使用したPing destination IP addressが入力されます。
- 接続に異常があった場合、5秒間リトライした後“Error: No answer”と表示されます。この場合は本機およびコンピュータの設定を確認し、ネットワーク管理者にご相談ください。

許可するIPアドレスの設定

(ADVANCED[6]Accept IP Addr(1) - [8]Accept IP Addr(3))

セキュリティ保護のため、本機に接続できるIPアドレスを制限することができます。本機に接続を許可するIPアドレスは3つまで設定できます。

```
advanced>6 ①
Accept IP Addr(1) : 0.0.0.0
Please Enter : 192.168.150.152 ②
(change)  → 192.168.150.152 *
```

- ① “6”、“7”または“8”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 接続するIPアドレスを入力し、「Enter」キーを押す
設定したIPアドレス(*)が表示されます。

メモ

- 設定されているAccept IP Addressを無効にするには、“0.0.0.0”を入力してください。
- Accept IP Addrが1つ以上設定されている場合、未設定のIPアドレスからの接続は、一切許可されません。解除するときは、[9]Accept All IP Addrを選択してください。

全てのIPアドレスを許可する

(ADVANCED[9]Accept All IP Addr)

Accept IP Addrで設定したIPアドレスを解除します。

```
advanced>9 ①
Accept All IP Addresses(y/n)? y ②
```

- ① “9”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

メモ

- “y”を入力した時点で、Accept IP Addr(1)-(3)の数値は“0.0.0.0”にリセットされます。
- “n”を入力すると、設定は変更されません。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

検索用ポート番号の設定 (ADVANCED[0]Search Port)

ネットワーク側から本機を検索する際に、使用するポート番号を設定します。

```
advanced>0
Please Enter Port Number for Search from Computer.
Valid range      : 1025 to 65535
Search Port      : 5006
Please Enter      : 5004
(change)         -> 5004 *
```

- ① “0”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② ポート番号を入力し、「Enter」キーを押す
入力した数値(*)が表示されます。

メモ

- 必要に応じて設定してください。通常は初期設定状態のままでお使いください。

初期設定値に戻す (ADVANCED[!]Restore Default Setting)

メニューで設定可能な設定値を、全て工場出荷時設定に戻します。

```
advanced>!
Restore All Setting to Default(y/n)? y
— User Setting Initialized —
```

- ① “!”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

メモ

- Telnet経由で本機を初期値へ戻したときは、IPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイなどの設定値が初期値へ戻るため、制御用コンピュータのネットワーク設定によっては本機に接続できなくなることがありますのでご注意ください。

メインの設定メニューに戻る (ADVANCED[q]Return to Main Menu)

メインの設定メニュー画面に戻ります。

```
advanced>q
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask    [3]Default Gateway
[4]User Name       [5]Password        [6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup  [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit     [Q]Quit Unchanged
setup>
```

- ① “q”を入力し、「Enter」キーを押す
SETUP MENU 画面に戻ります。

困ったときは

本機と通信できない

本機とシリアル接続した場合

- ◀ 本機のRS-232C端子とコンピュータまたは市販のコントローラーが正しく接続されていますか。
- ◀ RS-232Cケーブルには、クロスタイプのものを使っていますか。
- ◀ 本機とコンピュータまたは市販のコントローラーのRS-232Cポート設定が一致していますか。

本機とコンピュータをネットワーク(LAN)接続した場合

- ◀ 本機のLAN端子にケーブル側コネクタがしっかりと挿入されていますか。
- ◀ コンピュータやネットワーク機器(ハブ等)のLANポートにケーブルがしっかりと挿入されていますか。
- ◀ LANケーブルには、カテゴリ5のものを使っていますか。
- ◀ 本機とコンピュータを直接接続した場合：
LANケーブルには、クロスタイプのものを使っていますか。
- ◀ 本機をネットワーク機器(ハブ等)と接続した場合：
LANケーブルには、ストレートタイプのものを使っていますか。
- ◀ 本機とコンピュータ間のネットワーク機器(ハブ等)の電源が入っていますか。

本機とコンピュータのネットワーク設定の確認

- ◀ 本機の以下のネットワーク設定をご確認ください。
 - IPアドレス
本機のIPアドレスがネットワーク上で重複していませんか。
 - サブネットマスク
本機のゲートウェイ設定が“0.0.0.0”(Not Used)の場合、または、本機のゲートウェイ設定とコンピュータのデフォルトゲートウェイ設定が同一の場合：
 - サブネットマスクが、本機とコンピュータで同一になっていることをご確認ください。
 - サブネットマスクで示されるIPアドレス部分が、本機とコンピュータで同一になっていることをご確認ください。-(例)
本機のIPアドレスが“192.168.150.2”、サブネットマスクが“255.255.255.0”の場合、コンピュータのIPアドレスは“192.168.150.X”(X=3~254)、サブネットマスクは“255.255.255.0”となります。
 - ゲートウェイ
本機のゲートウェイ設定が“0.0.0.0”場合、または、本機のゲートウェイ設定とコンピュータのデフォルトゲートウェイ設定が同一の場合：
 - サブネットマスクが、本機とコンピュータで同一になっていることをご確認ください。
 - サブネットマスクで示されるIPアドレス部分が、本機とコンピュータで同一になっていることをご確認ください。(例)
本機のIPアドレスが“192.168.150.2”、サブネットマスクが“255.255.255.0”の場合、コンピュータのIPアドレスは“192.168.150.X”(X=3~254)、サブネットマスクは“255.255.255.0”となります。



メモ

- 本機のネットワーク設定の初期設定値
IPアドレス 192.168.150.2
サブネットマスク 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス 0.0.0.0(Not Used)
- 本機のネットワーク設定については**10ページ**を参照してください。

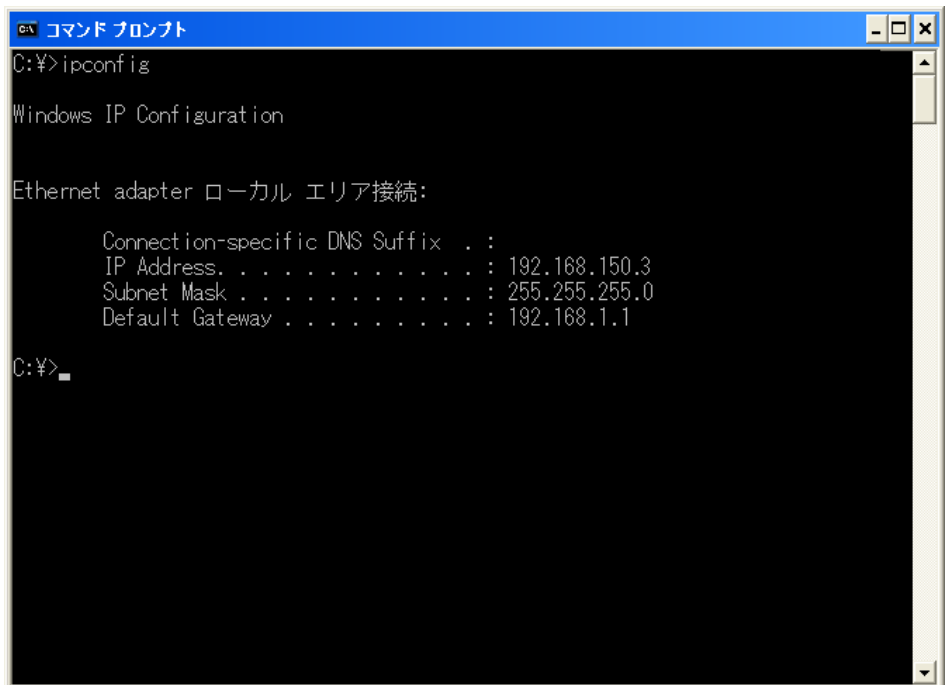
困ったときは

- ◀ コンピュータのネットワーク設定は以下の手順でご確認ください。
1. コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を開きます。
 - Windows 98、98SE : 「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリック。
 - Windows Me : 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリック。
 - Windows 2000 : 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリック。
 - Windows XP : 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリック。
 2. コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)起動後、「ipconfig」コマンドを入力し、「Enter」キーを押します。

メモ

- コンピュータのネットワーク設定を行った後でも、通信ができないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

C:¥>ipconfig[ENTER]



```
コマンド プロンプト
C:¥>ipconfig

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . : 
    IP Address. . . . .               : 192.168.150.3
    Subnet Mask . . . . .             : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . .         : 192.168.1.1

C:¥>
```

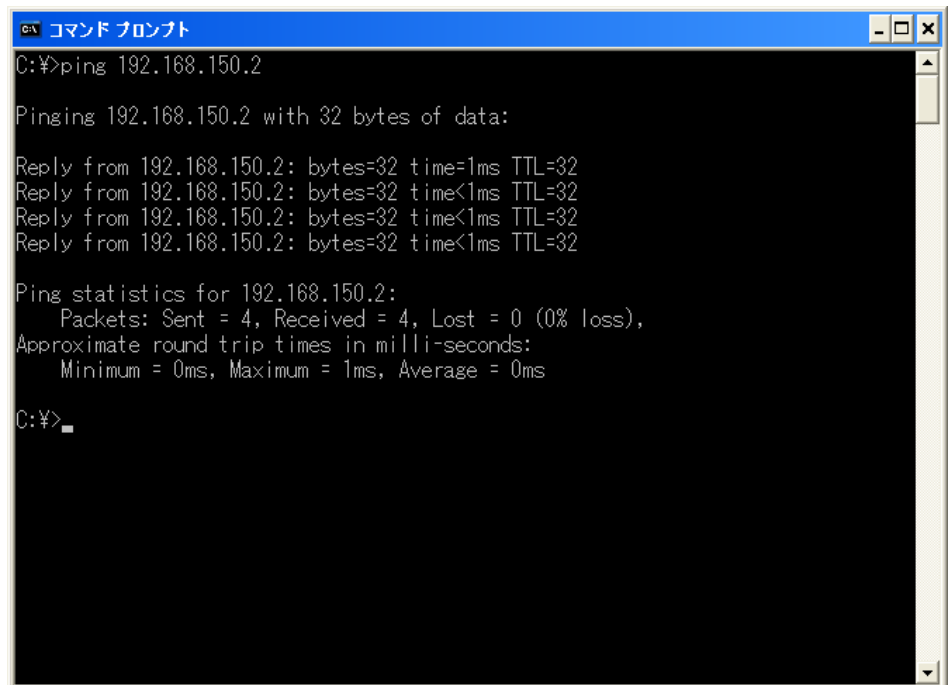
メモ

- ipconfigの使用例
 - C:¥>ipconfig /? ipconfig.exeの使用方法を表示します。
 - C:¥>ipconfig 設定されているIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを表示します。
 - C:¥>ipconfig /all 設定されているTCP/IP関係の設定情報を全て表示します。

3. Windowsの画面に戻るには「exit」と入力し、「Enter」キーを押します。

- ◀ 「PING」コマンドにより、「TCP/IP」プロトコルが正常に動作していることをご確認ください。またIPアドレスが設定されていることをご確認ください。

1. コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を開きます。
 - Windows 98、98SE : 「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリック。
 - Windows Me : 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリック。
 - Windows 2000 : 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリック。
 - Windows XP : 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリック。
2. コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)起動後、「PING」コマンドを入力します。
入力例 C:¥>Ping XXX.XXX.XXX.XXX
「XXX.XXX.XXX.XXX」には、接続先(本機等)のIPアドレスを入力します。
3. 正しく接続されている場合は、以下のように表示されます。
(OSによって、画面が多少異なることがあります。)
<例> 接続先のIPアドレスが「192.168.150.2」のとき



```
コマンド プロンプト
C:¥>ping 192.168.150.2

Pinging 192.168.150.2 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.150.2: bytes=32 time=1ms TTL=32
Reply from 192.168.150.2: bytes=32 time<1ms TTL=32
Reply from 192.168.150.2: bytes=32 time<1ms TTL=32
Reply from 192.168.150.2: bytes=32 time<1ms TTL=32

Ping statistics for 192.168.150.2:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 1ms, Average = 0ms

C:¥>
```

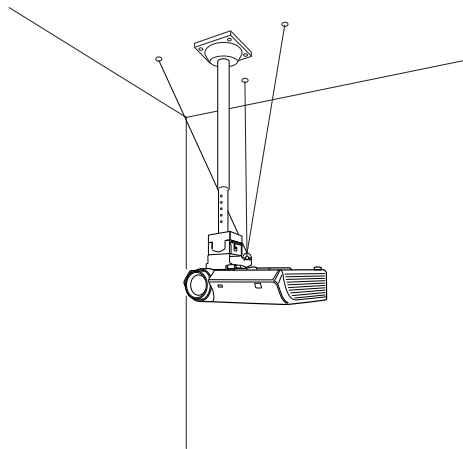
4. コマンド送信ができないときは「Request time out」と表示されます。
ネットワーク設定を再確認してください。
それでもうまく通信できない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
5. Windowsの画面に戻るには「exit」と入力し、「Enter」キーを押します。

ユーザー名やパスワードを忘れてしまい、接続できない

- ◀ 設定内容を初期化してください。(プロジェクトの取扱説明書63ページをご覧ください。)
- ◀ 初期化後、再度設定をしてください。

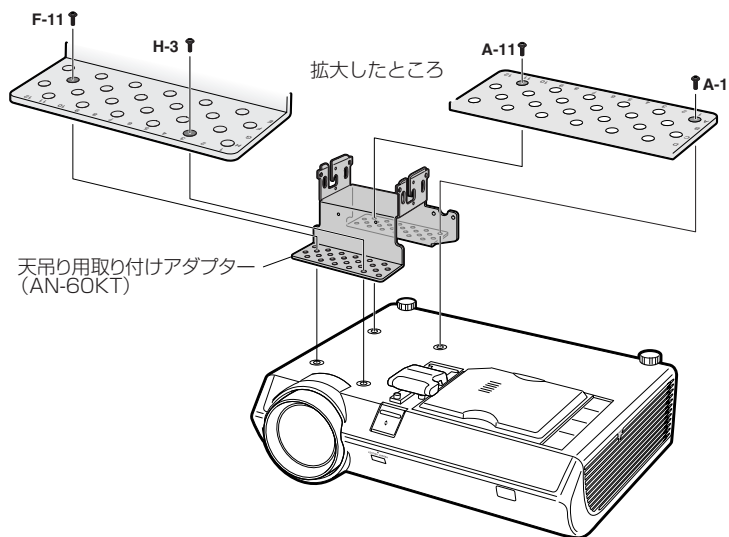
天吊り

プロジェクターを天井に設置するときは、[2ページ](#)の画面下端からレンズセンターまでの距離に合わせて設置位置を決めてください。



AN-TK201をご使用の際は、上図のようにワイヤー等でゆれ防止されることをおすすめします。

天吊り用取り付けアダプター（別売品）の取り付けかた



- 取り付けに使用するビス穴はA-1、A-11、F-11、H-3です。
- 天吊り用取り付けアダプターに付属のビス（M4）を使用してください。

寸法図

	品名	型名
①	高天井用取り付けユニット	AN-TK201
②	低天井用取り付けユニット	AN-TK202
③	天吊り用取り付けアダプター	AN-60KT

